

大分大学医学部附属病院 神経内科 専門修練プログラム

1. プログラムの概略・特徴

大分大学医学部附属病院神経内科専門医養成コースは、初期臨床研修を修了した者を対象とする。本コースでは、神経内科診療の基本であるベッドサイドでの神経診察から論理的に病巣を推測し、診断や治療法を導くことに重点を置き、神経内科全般の知識とともに、筋・神経生検の技術、画像読影法、超音波検査装置などの先端機器を用いた高度な診療技術の修得を必須としている。また、筋・神経病理（中枢・末梢神経）診断や神経生理学（脳波・筋電図）などの基礎的研修も取り入れることで病態理解を深めることが可能となる。また、関連施設では修得された技術をもとに脳卒中をはじめとする数多くの救急神経疾患や神経リハビリテーションを経験することで専門的知識や技術を修得できる研修システムとなっている。また大学院に進学し、研究に従事し学位取得を目指すことも可能である。

2. 研修目標

【一般目標】

内科医としての基本的な知識、手技を身につけ、さらに神経内科専門医としての神経内科領域における専門知識、診断能力を修得することを目標とする。4年次には日本内科学会認定内科医を取得することが可能で、さらに7年次には神経内科専門医を取得することが可能でありこれらの資格の取得を目指す。さらには各種学会、研究会などで報告を行い、論文を作成することを目指す。また大学院進学者は医学博士の取得を目指す。

【行動目標】

日本神経学会が定める卒後研修到達目標に基づき、大学病院では、主に神経診察、脳波、筋電図、神経・筋生検、画像読影法などの神経内科全般の知識や手技および筋・神経病理学、神経生理学などの基礎的知識を修得する。さらに難病の診療、遺伝子診断、免疫グロブリン大量投与治療や免疫吸着療法等の手技、脳卒中診療における tPA 投与といったより専門的な診療能力の修得も目指す。また関連施設では、脳卒中などの救急疾患の診療技術や神経リハビリテーションの知識を修得することを目標とする。

3. 研修スケジュール

3年目～凡そ10年目(下記以外でも個人の状況で変更することあり)

	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	
A	大学病院	関連施設	大学病院						
B	大学病院	関連施設	大学病院	留学 (国内・国外)		大学病院	または 関連施設		
C	大学病院	関連施設	大学院					大学病院	
D	大学病院	関連施設	大学院					留学 (国外)	

4. 評価

大学病院および関連施設において臨床経験豊富な指導医による複数あるいはマンツーマンでの指導・評価体制をとっている。

5. 募集人員 10人程度

6. 実施責任者: 熊本 俊秀

7. 指導責任者: 熊本 俊秀

8. 関連施設、学会認定状況

新別府病院（日本内科学会認定医制度教育病院、日本神経学会専門医制度教育研修施設）
湯布院厚生年金病院（日本脳卒中学会認定研修教育病院）

9. その他: 学会発表や論文執筆、希望により国内外への留学を積極的に行う。
また、脳卒中専門医の取得も可能である。

10. 連絡先: 大分大学医学部総合内科学第三講座

Tel 097-586-5814

E-mail naika3@oita-u.ac.jp

ホームページ <http://www.naika3.net/>